

令和元年度第1回江田島市総合教育会議 議事録

令和元年11月21日(木)、大柿市民センター2階研修室において、令和元年度第1回江田島市総合教育会議を開催しました。

1 開会及び閉会に関する事項

開会 午前10時30分

閉会 午後 0時05分

2 出席者

(1) 構成員

市長	明 岳 周 作
教育委員会教育長	小野藤 訓
教育委員会教育長職務代理者	三 島 雅 司
教育委員会委員	樋 上 美由紀
教育委員会委員	柳 川 政 憲
教育委員会委員	泊 野 仁 美

(2) 関係者(教育委員会事務局)

教育次長	小 栗 賢
学校教育課長	山 近 宏
生涯学習課長	松 岡 弘 倫
学校給食共同調理場総括場長	福 岡 洋
大柿自然環境体験学習交流館長	西 原 直 久

(3) 総合教育会議事務局

総務部長	仁 城 靖 雄
総務課長	矢 野 圭 一
総務課 総務情報係 主任	花 野 泰 司
総務課 総務情報係 主事	岩 田 悠 己

3 傍聴人

1人

4 議事日程

- (1) 議事録に署名する者の決定について
- (2) 報告第1号 令和元年度江田島市教育委員会経営計画(中間評価)について
- (3) 報告第2号 学校統合の取組について
- (4) 報告第3号 「海と知の拠点」館リニューアル整備事業について
- (5) 協議第1号 大柿高等学校に対する取組について
- (6) 協議第2号 令和2年度新規・拡充事業について
- (7) 協議第3号 江田島市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱について
- (8) その他

5 議事の概要

○ 矢野総務課長

ただ今から、「令和元年度第1回江田島市総合教育会議」を開催いたします。

現在、出席されている構成員は、6人でございます。

本日の議事日程は、「資料1」のとおりでございます。

なお、本日の会議には、構成員の皆様に出席していただいたほか、教育委員会事務局職員5人、総合教育会議事務局職員4人が出席しております。出席者の紹介は、お手元の「資料2」に代えさせていただきます。

それでは、開会の挨拶を、明岳市長が行います。明岳市長、よろしくお願いいたします。

○ 明岳市長

皆さん、おはようございます。

本日は、大変お忙しい中、御出席を賜りまして誠にありがとうございます。令和元年度江田島市総合教育会議を開催させていただきます。

この会議は、皆さんも御承知のとおり、市長と教育委員会の皆さんとで意思疎通を図り、地域の教育を子供たちにとってより良いものにしていくという目的の場でございます。どうぞ忌憚きたんのない御意見を賜りますようよろしくお願いいたします。

本日の会議では、まず、令和元年度江田島市教育委員会経営計画の中間評価と学校統合の取組、それから「海と知の拠点」館リニューアル整備事業について報告を受けます。

続きまして、大柿高等学校に対する取組、令和2年度新規・拡充事業、それから江田島市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱について協議をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○ 矢野総務課長

ありがとうございました。

それでは、議事進行は、明岳市長をお願いしたいと思います。明岳市長、よろしくお願いいたします。

○ 明岳市長

それでは、私の方で会議を進めさせていただきます。

本日の会議は公開となっております。江田島市総合教育会議運営規定第16条の規定によりまして、申込みのあったお一人の方に傍聴の許可をいたしております。

それでは、さっそく議事に入らせていただきます。

まず、次第の「(1) 議事録に署名する者の決定」についてでございます。

運営規程第14条第2項の規定によりまして、私とともに議事録に署名をする方を決定させていただきます。この件につきましては、平成27年7月21日に開催されました、平成27年度第1回江田島市総合教育会議におきまして申合せをいたしております。資料2の名簿の構成員の下段からの順番ということにさせていただきます。今回は、柳川教育委員会委員をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

なお、江田島市総合教育会議運営規程第14条第1項の規定によりまして、議事録を作成する

者は、総務課 花野主任を指名いたします。

それでは、次の議事に入らせていただきます。「(2) 報告第1号 令和元年度江田島市教育委員会経営計画（中間評価）について」でございます。

内容につきまして、小野藤教育長に説明を求めます。よろしくお願いいたします。

○ 小野藤教育委員会教育長

お手元に資料を準備しております。詳細についてはそれぞれの担当課長に説明していただきますけれども、教職員の服務規律につきましては、厳正に確保できております。また、学力向上につきましても、いろいろな取組をしている中で、教科によっては若干できていないものもありますが、おおむね良好に進んでおります。また、児童生徒の豊かな心の育成につきましては、数は少ないですが不登校等についてが問題になっておりますので、その取組を進めているところでございます。また、生涯学習の面で言いますと、文化施設、スポーツ施設の充実、活性化についてそれぞれ取組をしているところでございます。

詳細につきましては、学校教育課長、学校給食共同調理場長、生涯学習課長から説明をいたします。よろしくお願いいたします。

○ 山近学校教育課長

お手元の資料4の1ページ「令和元年度江田島市教育委員会経営計画（中間評価）」につきまして報告をさせていただきます。

まず、学校教育課分ですが、中期経営目標を「教職員の服務規律の厳正確保を図る」とし、短期経営目標を「教職員による不祥事を0（ゼロ）にする」といたしまして、今年度の評価指標にもございますように、懲戒処分件数を0件にするための取組を進めております。具体的な取組、方策といたしましては、「各校が実施した服務研修の好事例を市主催の研修において活用し、各校の服務研修に生かせるようにする」、「5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う」などの取組を行っております。中間報告の状況については、9月30日現在、懲戒処分件数は0件でございます。改善策といたしましては、引き続き、校長会、教頭・事務長会において、「服務規律の確保」に関して講話を行う等の取組を行ってまいります。

続きまして、中期経営目標を「児童生徒の学力の向上を図る」とし、短期経営目標を「習得した知識・技能を活用する力を向上させる」として、今年度の評価指標を全国学力・学習状況調査（B問題）の平均正答率を、国語は「全国平均を2ポイント以上上回る」、算数・数学におきましては「全国平均を4ポイント以上上回る」といたしました。具体的な取組、方策といたしましては、学力向上に関する先進校を各校の教員が視察する機会を設け、学びを広める場を設定するなどの取組を行っております。中間報告の状況でございますが、小学校につきましては、国語、算数とも、全国平均を上回り、目標を達成することができました。中学校につきましては、国語は全国平均を上回りましたが、数学は全国平均を下回る結果となり、目標を達成することができませんでした。改善策といたしましては、引き続き「学びの変革」推進協議会及び教務主任研修等で主体的な学びを促す授業改善について指導助言を行ってまいりたいというふうに考えております。

次に、中期経営目標を「児童生徒の豊かな心を育成する」とし、短期経営目標を「不登校児童生徒数を減少させる」として、今年度の評価指標を不登校児童生徒の割合を小学校では1人以下、中学校では5人以下といたしました。具体的な取組といたしましては、「不登校やいじめの早期発

見・未然防止につながるアンケートを実施し、結果分析に基づいた教育相談体制の充実が図られるよう指導する」、「不登校傾向の児童生徒の状況を把握しながら、欠席日数学期合計が10日を超えた段階及び年度合計20日を超えた段階で、各校の実態に応じた指導助言を行う」等の取組を行っております。中間報告の状況でございますが、9月30日現在、小学校につきましては、4人の不登校児童がおり、中学校においても4人の不登校生徒がいる状況でございます。改善策といたしましては、今後も教育相談体制の充実を図るとともに、不登校傾向の児童生徒の状況を把握しながら、各校の実態に応じた指導助言を継続的に行ってまいります。

学校教育課分については、以上でございます。

○ 福岡学校給食共同調理場長

続きまして、学校給食共同調理場から説明いたします。

中期経営目標を「江田島の「食」について知り、故郷への愛着や誇りを育てる」とし、短期経営目標を「児童生徒が地場産品を知っている割合の増加を図る」、評価項目を「地場産品について市内の学校で給食指導や食育活動を行う」、「おいしい江田島の日給食」を年2回実施し、江田島産品を積極的に使用するとともに、学校給食だよりや各学校の食育担当による取組により児童生徒への周知を行う」という内容にしております。目標値といたしましては、今年度は25パーセントに対し、中間報告は13.7パーセントという状況でございます。改善策といたしましては、学校給食で使用している地場産品の広報をより一層行い、地場産品の啓発普及に努めることで目標値に近づけるという内容でございます。

学校給食共同調理場からは、以上でございます。

○ 松岡生涯学習課長

生涯学習課分について御説明いたします。

中期経営目標が3点ございますので、それぞれの間での評価について御説明いたします。1点目「歴史資料館の活性化を図る」について、短期経営目標を「学びの館、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の来場者数の増加を図る」として、五つの評価項目を挙げています。評価指標は来場者数としており、令和元年度の目標値は、学びの館で9,300人、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）で2,300人であり、9月30日時点の来場者数は、学びの館で4,848人、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）で1,361人でございます。学びの館では、「ものづくり体験教室」、「教育参考館特別展」を実施しました。大柿地区歴史資料館では、「教育参考館展」、「くらしの古民具展」を実施しました。11月30日からは、江田島市出身で、日本棋院初代理事長を務められた、瀬越憲作名誉9段の特別展を開催いたします。中間での評価は両施設とも昨年度実績を上回り、年間目標値に対しましても50パーセントを超えておりますので、今後も年間計画どおりに取り組みます。

続きまして2点目、「公共スポーツ施設の利用促進を図る」について、短期経営目標を「スポーツセンターの利用者数増加を図る」として、六つの評価項目を挙げています。評価指標は利用者数としており、スポーツセンターの令和元年度の目標値は、35,500人であり、そのうちトレーニング室の目標利用者数を8,800人としています。9月30日時点の利用者数は、14,167人で、そのうちトレーニング室の利用者数は3,778人でした。上期においては、江田島市ゆかりのスポーツ選手の紹介等を行っております。中間での評価は、昨年同期実績を上回っておりますが、年間目標値に対しては、50パーセントに達しておりませんので、下期では、パブリ

ックビューイング等の開催により、利用者増加に取り組みます。

3点目、「図書館の充実を図る」について、短期経営目標を「図書館年間貸出冊数の増加を図る」として、六つの評価項目を挙げています。評価指標を年間貸出冊数としており、図書館の令和元年度の目標値は、115,000冊です。9月30日時点の貸出冊数は、52,524冊でした。上期においては、8月から市民センター等で貸出・返却ができる窓口の拡充を行いました。「本で塗る江田島しましまスタンプラリー」や「ミニ図書館」を実施し、利用の促進を図りました。中間での評価は昨年同期実績を下回っており、年間目標値に対しても、50パーセントに達していません。貸出が伸びなかった要因としましては、利用者の高齢化や本離れ、また今年度は、ゴールデンウィーク等の休日、祝日が増加したことも一つの要因と考えられます。改善策としましては、これまで以上に利用案内や、チラシによるPRを強化するほか、著名な絵本作家による読書活用講演会や図書館祭りを活用して、貸出冊数の増加を図ってまいります。

以上で説明を終わります。

○ 明岳市長

ありがとうございます。

ただいま、「(2) 報告第1号 令和元年度江田島市教育委員会経営計画(中間評価)について」説明を受けました。これについて御質問、御意見等はございませんでしょうか。

○ 泊野教育委員会委員

先日、小学校の学習発表会を見に行きました。どの学校の児童も落ち着いているように感じました。それぞれの学校でオリジナリティがあって、児童も学習発表会に向けて準備してきたというのが感じられましたし、先生方も児童一人一人に配慮されているように見受けられました。各学年の劇や、全校合唱も素晴らしいものでした。

○ 明岳市長

お褒めの言葉ですね。ありがとうございます。

○ 三島教育委員会教育長職務代理者

中間報告ということでしたが、教職員の服務規律については、懲戒処分件数が0で続いているということで良いと思います。教員の教員に対するいじめなども問題になっていますので、引き続き、引き締めていただきたいと思います。学力に関しては、数学が良かったり悪かったりする年があると思いますが、具体的な改善策はあるのですか。

○ 山近学校教育課長

御指摘いただいたように、今年度は中学校におきまして、数学が少し全国平均を下回っております。このことにつきましては、課題意識を持っており、中学校の数学部会で、今年度正答率が低かった問題につきまして、どのようにすればよいかということについて、先般も教職員が集まって話し合いを行っております。その結果、関連付けて読み取る力を育てることが必要であると結論付けておりますので、今後もこういった部会を積み重ねて、学力向上につなげていきたいと考えております。

○ 明岳市長

学校の先生の間関係はどうですか。

- 山近学校教育課長
どの学校も校長を中心として、良好で組織的な管理運営がなされております。
- 三島教育委員会教育長職務代理者
数学に関して、今の中学3年生が、小学6年生だった時の算数はどうだったのか。同じように悪かったのか、小学校、中学校の9年間を通してその子の成績に上がり下がりがあるのかということを見ていって、授業の方法を考えるという仕組みが必要であると思います。
- 明岳市長
おっしゃるとおりです。そういった分析も当然行っているのですか。
- 山近学校教育課長
行っております。
- 明岳市長
江田島市の教育は平均より上、更に県内でもトップレベルの位置にあるといえば、保護者にとっては、江田島市の公立小学校・中学校に通わせるのに非常に安心感が得られると思います。先ほどの説明の中で、学力向上の先進校を視察されたと言われましたが、具体的にどこへ行かれたのですか。また、どのように感じられましたか。
- 山近学校教育課長
昨年度で申し上げますと、横浜国立大学附属中学校などを視察しております。帰ってきてからそれぞれの先生方が、これがポイントだということをワンペーパーにまとめ、市教委で冊子にして、全ての学校に配って周知をいたしました。
- 明岳市長
周知をして、具体的に1週間の何曜日にはこうしようというものが欲しいですね。やはり頑張りしかないと思います。それが来年に生きれば良いと思います。そのほかございますか。
- 樋上教育委員会委員
先ほど、教育長が不登校のことが課題になっているとおっしゃっていましたが、昨年度よりも少し減っているものの、目標値に達していないじゃないですか。不登校にはいろいろな要因がありますが、江田島市の不登校児童、生徒にはどのような要因があるのか、把握している範囲で教えてください。
- 山近学校教育課長
不登校の定義は、欠席日数が30日を超えることでございます。傾向といたしましては、前年度不登校になっていた児童・生徒が進級して、年度当初は頑張ろうと思うのですが、月を追うごとに同じような状態に陥ってしまい、今年度も不登校になってしまうという傾向が市全体としてあります。
また、生活習慣が要因で、なかなか基本的な生活習慣が身に付かないという児童生徒もおり、朝

起きられなかったり、遅刻したりというところから始まって、欠席がかさんでいくという傾向が強いかとは思いますが、教職員は粘り強く家庭訪問等を行い、取組を進めております。

○ 樋上教育委員会委員

家庭訪問は必要だと思います。昔に比べて家庭訪問に行きにくくなっている現状があると思いますが、時間を作りながら、家庭との連携を図っていくことが大事だと思います。

○ 明岳市長

小学校4人，中学校4人の不登校児童・生徒に対する家庭訪問は実現できていますか。親が全く会わないということをよく耳にしますけれども，そういうことはないですか。

○ 山近学校教育課長

大丈夫です。県からもスクールソーシャルワーカー，いわゆる家庭教育支援アドバイザーを配置していただいております，先生方とともに家庭教育支援アドバイザーも家庭訪問をするという取組を進めております。

○ 明岳市長

ありがとうございます。ほかにございませんか。

○ 柳川教育委員会委員

江田島市のスポーツの公共施設で，スポーツ選手の紹介とありますけれども，具体的にどうい
う方を紹介されたのですか。

○ 松岡生涯学習課長

河石達吾さん，住吉耕作さん，大多よねさん，八田一朗さん，大谷晃さん，梶川孝義さんをス
ポーツセンターのロビーで紹介させていただいております。

○ 明岳市長

少し古い年代ですね。

○ 松岡生涯学習課長

今後に関しましては，先日講演いただいた栗原さんや西塔さん，それからバレーボールでJ T
サンダースの箕本選手等も加えていけたらと思っております。

○ 明岳市長

委員のみなさんは紹介する方にお心当たりはありますか。

○ 柳川教育委員会委員

栗原さんの講演会に行きましたけど，いろんな意見とか経験談を子供たちに話してもらって
いました。

- 明岳市長
私も講演会で挨拶だけさせていただきましたけれども、栗原さんは膝を曲げられている状態で、私の身長と同じくらいでした。ものすごく高かったです。内容はどうでしたか。
- 小野藤教育委員会教育長
今まとめていますので、本日中に送らせていただきます。45分間講演をされて、残り45分間は会場の方とのやり取りでしたけれども、非常に受け答えもよくされていて、3回目の講演らしいのですが、マネージャーの方も、とても良かったと言われていました。
- 樋上教育委員会委員
とてもいい講演でした。高校生が質問したのですが、すごく感動的でした。ああいう場で高校生が質問できる雰囲気が出ていました。高校生が自分の悩みを尋ねること自体もすごいと思います。おとなしい子だと思ったのですけどね。
- 明岳市長
女の子ですか。
- 樋上教育委員会委員
男の子です。
- 明岳市長
男の子は、バレーをやられているのですか。
- 樋上教育委員会委員
高校に入ってバレーを始めてその悩みを相談していました。なかなかああいう場で手を挙げることはできないので、良かったと思います。
- 明岳市長
それがまず素晴らしいですよ。男の子は江田島市の子ですか。
- 樋上教育委員会委員
そうです。
- 明岳市長
それでは、次の議事に入らせていただきます。「(3) 報告第2号 学校統合の取組について」でございます。内容につきまして、小野藤教育長に説明を求めます。よろしく願いいたします。
- 小野藤教育委員会教育長
三高中学校の統廃合におきましては、今年度に入ってPTA会長さん、自治会長さんと話をしておりますけれども、なかなか現状としては進んでいないということです。詳細については、学校教育課長から説明させていただきます。

○ 山近学校教育課長

資料5の9ページを御覧ください。学校統合の取組について報告させていただきます。

「1 令和元年度三高中学校保護者等との連携について」といたしましては、お手元の資料にもございますように、6月22日に三高支所で三高小PTA会長や、三高中PTA会長の方々と顔合わせを行い、市教委の方針を伝えるとともに三高小中学校の保護者の思いを伺いました。

また、7月11日、12日には、教育長の方針や、市教委の方針を再度伝えるとともに、三高中PTA会長や、三高地区まちづくり協議会会長の思いもしっかりと伺い、統合説明会に向けて日程調整を行っております。さらに、10月以降も計3回教育長と私で三高会館に出向いて、方針を伝えるとともに、統合説明会実施に向けての調整を行っております。

これらのことを踏まえまして、教育委員会といたしましては、「2 今後の働きかけ」にございますように引き続き三高中PTA会長を窓口^に統合説明会の開催に向け、粘り強く取り組むとともに、第2次答申を尊重し、1日も早く地域の方々に御理解いただけるよう取組を進めてまいります。また、3には、これまでの三高中学校統合に係る説明会等の経過を記載しておりますので、併せて御参照いただければと思います。説明は以上です。

○ 明岳市長

ただ今、三高中学校の学校統合の取組についての説明を受けました。これについて、質問、御意見等はございませんでしょうか。

○ 泊野教育委員会委員

一番に考えてほしいのは子供たちのことです。第一に安全かつ安心して授業を受けられる場所の確保です。そして、このまま少人数で学校生活を過ごして高校生になったときに、生徒数の多さに圧倒されてしまうと思います。高校生活におけるそのような不安を取り除いて社会性やコミュニケーション能力を養わせるためにも、私は早めに統合が必要であると感じています。

○ 三島教育委員会教育長職務代理者

なかなか統合説明会までいっていないような状況ですが、開催できる見込みはあるのですか。

○ 山近学校教育課長

今年12月中には、一度開催したいという目標に向けて、現在も調整を図っているところでございます。

○ 三島教育委員会教育長職務代理者

教育委員会として三高については、第2次答申に沿って統合を進めていくということも確認しております。市長も同じ方向性だと思いますので、市長部局の関連部署と連携しながら粘り強く進めていくしかないと考えています。

○ 明岳市長

昨年の総合教育会議でも議論させていただきました。地域性があって非常に難しいということは委員さんからも御指導いただきましたけれども、泊野委員が言われたように、子供のことを考えて、多くの生徒の中で切磋琢磨^{せつさたくま}できるという環境に早くしたいし、団体競技でも子供の可能性

を広げたい。その意図は通じているんです。

しかしながら1点、地元が寂れるとか、今まで小中学校合同で体育祭をやってきたとかという話になって止まるのです。だから、私もできるだけ三高地域に賑わいが作れるようにということで、三高港の整備を県に働き掛けて合同で整備しています。

そこには新しいセンターや商工会も入ります。そのような三高地域の拠点を作っているところで、来年の10月には出来上がります。行政としても決して地域をなおざりにするのではなく、基盤は整備していきます。しかし、いかに賑わいを作っていくかは地元です。そこで市場のような形で花を売るなど、そういったことの投げ掛けもしていますが、なかなか腰が上がっていないというのが実態です。

そうはいつでも、なんとかして形にしていきたいと思うのと、保護者の方には、江田島市は何を思っているのかということを知ってみたいと思っています。

○ 樋上教育委員会委員

地元の思いには複雑なものがあるので、なかなか上手くいかないことは分かります。私も第2次答申に沿って統合を進めていくべきだと思いますけれども、地域の方がどのような思いを持っているか知っておく必要があると思います。

アンケートをされたと思いますが、アンケートの結果がどのようなものであったのか教えていただきたいです。

○ 山近学校教育課長

昨年9月に三高小学校、三高中学校の保護者にアンケートをさせていただきました。回答率は89.5パーセントでございまして、「少人数化してきていますけれども教育条件に不安はありませんか」という質問に対して「ない」が49パーセント、「未回答」が47パーセントであり、96パーセントが「不安はない」または「未回答」という結果になっております。

また、「どれくらいが1学年規模として限界か」という質問に対しては、「1名でも」というのは44パーセント、「未回答」が48パーセントであり、92パーセントが「未回答」若しくは「1名でも」という結果が出ております。以上です。

○ 明岳市長

私も秋月小学校のPTA会長をしていたので、分かりますけれども、学校がなくなるのは本当に寂しいし、ないよりはあった方がいいというのが地元の感覚だと思います。子供のためにという部分をいかに持っていていただくかだと思います。

○ 小野藤教育委員会教育長

今年度初めて席についてお話しした際に、前教育長は説明会をしています。私が着任してからは説明会を行っていないので、ぜひ説明会をさせてほしいとお伝えしました。新1年生も入って、保護者も変わっており、一時期説明会を開かなかった時期もありますので、空白の期間を置かないためにも、最低1回以上は説明会を開催させてくださいということをお伝えして、それについては理解をいただいております。開催時期については調整中ですが、必ず開催します。

○ 明岳市長

なんとか年内に開催できるようにお願いしたいと思います。理解していただける保護者も中にはいらっしゃるのですが、全体ということになると難しいところがあります。そうはいつでも江田島市では各地域でそれぞれ統合をしてくれていますから三高だけ特別というわけにはいかないと思うし、基本的にこの方針を進めていくことを訴えていかせていただきます。

それでは、「(4) 報告第3号 「海と知の拠点」館リニューアル整備事業について」でござい
ます。内容につきましては、小野藤教育長から説明をお願いいたします。

○ 小野藤教育委員会教育長

さとうみ科学館では廃校施設を有効活用しながら、いろんな取組がされていますけれども、老朽化が進んでおりまして、新耐震基準を満たしておりません。その中で、早期にリニューアル整備をして、今後は観光資源として認知度を高めて、人が集い交流できるような施設になればと思
っております。

詳細については、西原館長から説明いたします。

○ 西原大柿自然環境体験学習交流館長

別冊資料6を御覧ください。資料は10～12ページでございます。

大柿自然環境体験学習交流館、以後さとうみ科学館と呼ばせていただきます。「海と知の拠点」
館リニューアル整備事業について現在までの進捗状況を報告させていただきます。この事業は、
さとうみを教育資源とした江田島市ならではの特色ある教育を推進している「さとうみ科学館」
を中核施設として、「海と知」のネットワークを構築しながら、海辺の自然について学ぶなら江田
島市へという認知度を高め、人が集い、交流し、学び、楽しむことができる本市の観光振興にも
配慮した施設整備と、事業の充実を図ることを目的として、平成30年度からスタートさせた事
業でございます。

事業内容は大きく二つございまして、一つ目は、さとうみ科学館の今後の役割と、施設内容や
整備の在り方などについて検討を行い、施設のリニューアル整備を行うことを目的とした「さ
とうみ科学館リニューアル整備事業」、二つ目は、リニューアル後を見据えた準備事業として位置付
けて行っている、「里海学習推進事業（資料整備事業）」でございます。

それでは、資料6の10ページを御覧ください。一つ目の「さとうみ科学館リニューアル整備
事業」についてでございます。平成30年度、利用者の利便性の向上と、幅広いニーズへの対応
を図ることを基本とした、施設整備に関する調査検討業務の委託を行い、基本計画の策定作業を
スタートさせました。今年度、事業の進めやすさ、利用者の視点、事業連携などを①～⑥のポイ
ントに重点を置き、多面的・効果的な事業運営が可能となる最適地を選定することを目的に、「第
2次基本計画」の策定作業を行っております。

続いて11ページを御覧ください。二つ目の「里海学習推進事業（資料整備事業）」についてで
ございます。海辺の自然に関する本や資料、海産生物を中心とした標本資料や画像・動画資料な
どの関連資料の収集と整理を行いながら、館所蔵資料を公開・活用していくための準備事業で
ございます。平成30年度は、関連図書や研究資料の収集・整理、今年度は、これまでの調査・研
究で収集した標本・資料、寄贈標本等の整理を行っております。

来年度も引き続き市の財産である研究資料を整理しながら、今年度策定する「第2次基本計画」
を基に、整備効果を高めるための運営の在り方や、施設整備の手法や財源の確保といった事業手

法の検討，具体的な事業化に向けた情報収集や調査検討を行い，リニューアルオープンに向けて計画的に事業を進めていく予定でございます。説明につきましては，以上です。

○ 明岳市長

ただ今の説明に対しまして何か質問，御意見等はございませんでしょうか。

○ 柳川教育委員会委員

場所は具体的にどういったところを考えられていますか。

○ 西原大柿自然環境体験交流館長

検討中ではございますが，10ページにございます①～⑥のポイントで効果的に事業を進めていくための整備候補地を検討しているところでございます。特に海をベースに事業を進めている施設でございますので，海の近くで，海の事業を行っているということをイメージできる，海の新しいプログラムを実施できる場所を候補地として検討しているところでございます。市内，市外と様々な学校への支援を行っている施設でもございますので，学校の支援が確実にできる，事業効果を高める場所の選定を進めております。

○ 柳川教育委員会委員

海の近くというのは必須ですね。先日も行かせていただきましたけれども，海水の入替えはものすごく大変だと思います。また，学校と併設して進めていってほしいと思います。ほかではなかなかないと思います。江田島市にしかできない，江田島市らしさはそこにあるのではないかと思います。

○ 明岳市長

本当にすごい施設だと思うし，教育内容も素晴らしいですね。

○ 柳川教育委員会委員

特に職員の皆さんの情熱があると思います。

○ 明岳市長

私も3年前に行かせていただいて，感動しまして，市役所に来られる方には，さとうみ科学館は市役所から10分のところにありますからぜひ行ってみてくださいと，話を聞いてやってくださいと言っています。ある呉市内の企業には，会社がある限りこれから年間100万円は必ず寄附しますと言ってもらったりと，すごい施設だと思います。なかなか地元の人にも気付いていないんですよ。

火曜日に江田島市の広報大使になってもらった，矢野帆夏さんのラジオ番組が夕方5時45分くらいから7時くらいまであるんですけども，その際にさとうみ科学館を取り上げていただいて，西原館長を始め，たくさんのスタッフがすごく良いんですよと言ってくれていました。本当にすごいことだし，江田島市らしい教育を最も表していると思うんですけども，計画事業費が高いものですから，そこを今からどうするか頭を悩ませております。何とか実現をしたいという思いは変わっていません。場所については，深江にあるからいいという方もいらっしゃいます。

○ 柳川教育委員会委員

島外，市外から人が入って来るには，過度に立派な施設とはいかなくても，最低限の施設は必要と思いますけどね。

○ 明岳市長

小学生，中学生が海の生き物を写生してカレンダーを作っているんですよ。これもすごいもので，いつか並べて皆さんに見ていただきたいと思っていて，あの積重ねはすごいと思っています。西原館長のキャッチフレーズは何でしたっけ。

○ 西原大柿自然環境体験学習館長

「ふるさとの自然を知る子どもは，ふるさとを語る大人になる。」です。

○ 明岳市長

私は，ふるさとの自然を教えてもらっていないから語れないんですよ。それができれば，江田島市の人ってすごいなと必ず言ってもらえると思います。そのためにも，ぜひこれは日の目を見せたいという思いはありますので頑張ります。

○ 泊野教育委員会委員

先日，さとうみ科学館に見学に行っただけですけども，標本もすごい量なので，所狭しと飾られていて，飾り切れなくて保管されているものもあって，もったいないなと思いました。ぜひとも新しい施設を作って全ての標本が飾れるようにしてほしいと思います。

○ 明岳市長

そのほかないですか。ないようでしたら，次にいかせていただきます。「(5) 協議第1号 大柿高等学校に対する取組について」でございます。内容につきましては，小野藤教育長から説明をお願いいたします。

○ 小野藤教育委員会教育長

大柿高校の存続に向けて，大柿高校活性化事業というものを充実させてきております。その中で，今年度1年生は，40人入学しております。詳細については，学校教育課長から説明させていただきます。

○ 山近学校教育課長

お手元の資料7の13ページを御覧ください。

大柿高等学校に対する取組について説明いたします。「1 現状」といたしまして，平成31年度の40人の新入学を受け，全校生徒数は92人となりました。しかしながら，現在中途退学者が1人おり，令和元年度の卒業生が27人いるため，令和2年度に全校生徒数80人を確保するためには，16人以上が必要である状況でございます。

すでに御承知のとおり，県教育委員会は2年連続で生徒数80人を下回る場合は，単独高校としての存続を見直すとしておりますので，本市といたしましては，令和元年度は大柿高校サポート事業として1,827万円の財政的な支援を行っております。具体的な支援内容といたしまし

ては、大柿高等学校魅力化コーディネーターの配置、また大柿高等学校の活性化を図るため、公営塾の運営や、通学支援を行い、大柿高等学校の存続に向け、更なる教育環境の充実を図るための支援を行っております。

また、令和2年度におきましても、資料中(1)～(6)にございます支援を行うため、概算で2,006万円の予算を計上し、引き続き支援を行ってまいりたいと考えております。

次に14ページを御覧ください。これは大柿高等学校活性化に向けた取組ということで、大柿高校が作成した資料でございます。1学期からの取組や今後の取組について、まとめをしております。大柿高校も今年度は市内4中学校に出向いて、教員対象の説明会を実施したり、東京や大阪に生徒募集に出向くなど様々なPR活動を行っております。

続きまして15ページを御覧ください。大柿高等学校魅力化コーディネーターについて、今年度の活動状況について掲載しております。業務内容といたしましては、PR活動のための資料作成、また、PR活動を中心に活動を行っております。詳細につきましては、17ページにもございますように、SNSを活用したFacebookも定着をできております。タイムリーに情報発信をしながら活動をしております。さらに、16ページではこれまでの主な活動記録を掲載しております。様々なところに出掛けて、大柿高校の魅力をPRしているところでございます。

○ 明岳市長

ただ今、大柿高等学校に対する取組について説明を受けました。これにつきましての御質問等はございませんでしょうか。

○ 三島教育委員会教育長職務代理者

新入学者について、令和2年度は40人という目標だということですが、これはクリアできそうですか。また、今年度は島外からも入学者がいましたが、市内と市外の比率が分かれば見込みを教えてください。

○ 山近学校教育課長

まず、40人をクリアできるのかという御質問ですが、10月段階で承知しているところでは、中学校3年生で第1希望に大柿高校を挙げている生徒は29人でございます。うち地元の中学校からは26人、市外が3人という内訳でございます。また、市内の中学校から大柿高等学校に進学する率となる地元進学率は、昨年度が21パーセント、今年度は22パーセントとなっております。

また、大柿高校の地元率については、78.2パーセントでございます。各学年で70パーセント台、もしくは80パーセント台で、平均すると78.2パーセントでございます。

○ 三島教育委員会教育長職務代理者

下宿先や寮は確保できているのですか。

○ 山近学校教育課長

寮は6人入居可能ですが、現在は5人が入居している状況です。

- 明岳市長
市外の人は、あまり多くないですね。
- 小野藤教育委員会教育長
今年度の新入生40人のうち、29人が市内で約75パーセントです。1年生については、昨年度校長や木村コーディネーターが広島市や呉市に出向いて説明会を行って、昨年度は島外からたくさんの生徒が来てくれました。例年は、3人から4人でございます。今年度は県外からの募集も積極的に行っておりまして、大阪会場と東京会場の全国の学校が集まる場所でPRして、校長に聞くと2、3人は可能性があるということでした。また、寮は男子のみで、女子については、下宿で民泊をされてらっしゃる方に、上限4人までなら受け入れてもいいと言ってもらっております。
- 明岳市長
現在、中学校3年生は、29人が第1志望で大柿高校を志望してくれているということで、目標にはあと11人必要ですが、達成できる見込みですか。
- 山近学校教育課長
はい。第2志望まで含めると、48人が大柿高校を受験したいという意向であると聞いております。
- 明岳市長
来年度は約2,000万円予算要求で出ています。県立高校ではありますが、市立高校だと思ってなんとか継続して支援していきたいと思っています。特に、修学旅行費として灘尾基金が残っておりますので、これを活用させてもらって台湾との国際交流等に力を入れていきたいと思えます。
- 樋上教育委員会委員
魅力化コーディネーターなど、いろいろなことで江田島市が支援をしていて、その成果が徐々に表れてきているのでいいなと思います。
この間、大柿高校のフェスタに行って、子供たちもよく頑張っているなとは思ったのですが、もう少し大柿高校の子供や教員が住民の思いをつかんでもらいたいと思います。生徒の動きがもっと前になるような活動をしながら、大柿高校ここにありといったような、地元根差した高校になれるような高校の体制も必要なのかなと思います。
いつまでも支援が続くわけではないので、自立していかないといけないと思います。
文化祭にも行きましたが、もっと動きがあれば良かったと思います。地元の方はよく動いていました。
- 三島教育委員会教育長職務代理者
コミュニティスクールを導入したと聞きましたが、導入したことによって、大柿高校の活性化のために新しい取組ができるのか、取組に対してコミュニティの方から支援しやすくなるということはあるのでしょうか。

○ 小野藤教育委員会教育長

4月から県内全ての県立高校で導入しておりますが、県の教育委員会の方に聞いてみますと、十分に機能している学校は少ないということでした。特に高校になると地域が広がりますから機能させることは難しいですが、コミュニティスクールの目的としましては、地域の皆が参加して学校経営を進めていくことです。市も支援をしておりますので、まだ十分には機能しておりませんが、活用していけば成功すると思います。

○ 明岳市長

学校の経営に地域の方が参画するということですが、具体的に委員等を選任するのですか。

○ 小野藤教育委員会教育長

委員は選任されており、年3回定例で会議を持つのですが、盛んになればそれが3回以上に増えます。例えば地域の行事があるときに、高校から何人か参加してほしいという依頼が地域からあれば、ここから行かせましょうということを行います。しかしながら、地域の人も委員の一人ですから、来たら責任を持って自分たちが子供たちに指導等を行うことが必要です。高校の先生が来て、「高校の先生ちゃんとやってね」ではなくて、来たら自分たちも高校生たちと一緒に活動したり、指導したりするような事業です。

ミカンマラソンなどはそういった形で実施できていますが、増やしていけばもっと高校生が活発に活動できます。

○ 明岳市長

オリーブミュージアムでは、女子高生がオリーブ姫になって、いろいろな応援をしていましたね。

○ 小野藤教育委員会教育長

学校の職員だけではなく、地域のいろいろなジャンルの方に来ていただいて、アイデアを出してもらおうというものです。

現在コミュニティスクールを導入している小中学校もあると聞きますが、やはりポイントは人選だと言われておりました。

○ 泊野教育委員会委員

今年度の中学3年生の大柿高校を志望されている生徒は29人で、第2志望を含めると48人ということでしたが、昨年度の同時期の人数は何人か教えてください。

○ 山近学校教育課長

昨年11月の状況でございますけれども、第1志望が26人、第2志望が10人で計36人でした。

○ 明岳市長

昨年より12人多いですね。イメージが良くなっているのですね。

ほかにないようでしたら、次の議題に入らせていただきます。

続いて「(6) 協議第2号 令和2年度新規・拡充事業について」でございます。内容につきましては、小野藤教育長から説明をしていただきます。よろしくお願いたします。

○ 小野藤教育委員会教育長

今年度の新規事業は三つ、拡充事業は二つでございます。詳細につきましては各担当課長、場長から説明させていただきます。

○ 山近学校教育課長

資料8の18ページを御覧ください。令和2年度新規・拡充事業の案について説明させていただきます。18ページは市教育委員会として行いたいと考えている主要事業でございますので、詳細については、19ページから御覧いただければと思います。まず、学校教育課といたしましては四つの事業を挙げております。一つ目は学校施設長寿命化計画事業でございます。この事業での概算事業費は、1,310万円を計上する予定でございます。この事業は、市内の小中学校の学校施設の効率化を図り、より良い教育環境を確保するため、令和2年度に業務委託し、中長期的な維持管理に係る長寿命化計画を策定し、方針を定めた上で、改修等の優先順位を付けて、学校施設を計画的に整備していくための事業でございます。また、令和2年度内に個別施設ごとの長寿命化計画を策定しておくことで、国からも3分の1の補助をいただける仕組みになっております。

続きまして、20ページでございます。小中学校学力調査実施事業でございます。この事業の概算の事業費は116万円を計上する予定でございます。この事業は下のイメージ図にもございますように、市内の小中学校児童及び中学校1・2年生の生徒を対象に、本市の実態に適した学力調査を実施し、その結果分析から各校の課題を明らかにし、より効果的な事業改善に取り組み、学力向上を推進していく事業です。学力調査実施後は、全国や県のデータと比較し、自校の学力における課題を客観的に把握して、効果的に事業改善を行ってまいりたいと考えております。

続きまして、3点目の大柿高校サポート事業でございます。21ページを御覧ください。この事業の概算事業費は2,006万円を計上する予定でございます。具体的には、これもイメージ図を御覧いただければと思いますけれども、大きく二つの事業を展開する予定でございます。一つ目が、大柿高等学校活性化補助金でございます。これは大柿高校の教育内容の更なる充実に寄与するための補助でございます。具体的には、今後更に部活動を活性化させ、英語検定費用を助成し、学力の向上を図ってまいりたいと考えております。二つ目は、大柿高等学校魅力化補助金です。これは、通学や、塾、寮、修学旅行などの補助金等を引き続き行い、大柿高校の魅力を更に高めてまいりたいというものでございます。

続きまして、22ページを御覧ください。四つ目でございます。学校トイレ洋式化事業でございます。この事業の概算事業費は、1,600万円を計上する予定でございます。この事業は、一般家庭や公共施設でトイレの洋式化が普及してきておりますので、来年度は特に市内の小中学校の和式トイレを改修いたしまして、児童の健康面にも配慮して、校舎内のトイレの洋式化率を70パーセント以上にしたいと考えております。学校教育課分は、以上でございます。

○ 松岡生涯学習課長

続きまして、生涯学習課分を説明させていただきます。新規事業が1点と拡充事業が3点でございます。23ページを御覧ください。新規事業、ふれあいコンサート事業でございます。現在、

小中学生を対象に芸術鑑賞事業を生涯学習課で行っていますが、市民全体を対象としたものはございません。今年度は12月にふれあいコンサートを三井文化財団の補助を受けて行う予定となっておりますが、来年度以降も市民の皆様に高水準の音楽・芸能などに親しむ機会を提供したいということで、新規事業として挙げさせていただいております。事業の概算費用は120万円で、ワンコインでの有料コンサートとさせていただきたいと思っております。

続きまして24ページを御覧ください。拡充事業、こちらは、ふるさと再発見事業の中でのふるさと古写真集発行事業でございます。昨年度、今年度とふるさと古写真展という写真展の事業を生涯学習課では行っておりました。その中でアンケート等を取った結果、かなりの数の方から、ぜひ写真集にしてほしいという声が寄せられております。それにお応えする形で、貴重な資料をただ持っているのではなく、市民の皆様に御提供したいということで、来年度は古写真集を発行したいと考えております。概算事業費は、176万5,000円を計上する予定としております。こちらは、1部税込みで1,000円での販売とさせていただく予定です。古写真展に使ったもの以外のデータが5,000点以上と、写真が多くあるのですが、写真の中身までは精査できていないものもありますので、今後は精査を行いまして、キャプション等を付けて、来年度は、写真集にしたいと思っております。

続きまして、25ページを御覧ください。こちらも拡充事業、ふるさと再発見事業の中での偉人伝オリンピック事業でございます。来年の東京オリンピック開催に合わせまして、江田島市出身のオリンピックに出場された方についての偉人伝を深く掘り下げて学びの館において御紹介させていただくとともに、オリンピック出場者の講師の方を招致いたしまして、記念の講演会等を実施できたらと考えております。概算事業費は131万円の計上を予定しております。昨年度、今年度と行ってまいりました、教育参考館特別展と併せて、同時期開催として行う予定としております。

続きまして、26ページを御覧ください。こちらもふるさと再発見事業の拡充事業とさせていただいております。民俗文化財継承事業というところで、こちらは、宮島の管弦祭に由来して、江田島市の中では高田の御供船と幸ノ浦の田頭家の大提灯という二つが1701年という300年以上前から、ずっと行事として管弦祭の御協力をされてきておられました。しかし、ここ近年この二つとも金銭的な理由と高齢化等による理由で管弦祭に参加できなくなっているということがあります。二つとも地域の伝統的な行事の一つでございますので、今後も江田島市として伝統行事の灯を絶やすことなく、子供たちにも伝えていきたいものであるということで、補助を行って再開していただくために、この制度を作らせていただきたいと思いますと考えております。初年度の概算事業費は、135万円の計上を予定しております。

○ 福岡学校給食共同調理場総括場長

続きまして、27ページを御覧ください。継続事業でございます。地場産品導入事業でございます。今年度からの事業でございます。江田島市の「食」について知り、故郷への愛着を育てることをテーマに地場産品の使用を積極的に推し進めていくものでございます。企業訪問をして交渉しながら事業を進めております。今年度は新たにイチゴや、トマトを使っております。来年度は更にオリーブなどを使い、付加価値のついた給食の提供をすることで継続事業にさせていただいております。以上でございます。

- 明岳市長
予算については、決定ではなく、予算要求という段階のものでございます。
ただいまの説明について御質問があればお願いいたします。
- 三島教育委員会教育長職務代理者
施設の長寿化計画の学校施設の中に、プールは含まれていますか。
- 山近学校教育課長
プールも含んで考えております。
- 三島教育委員会教育長職務代理者
もっと以前からあってもよかったと思います、なぜこのタイミングなのですか。
- 山近学校教育課長
市内の小中学校を見てみますと、一部老朽化した施設も出てきておりますので、もう少し前からでもよかったとは思いますが、先ほど申し上げたとおり、この度の計画に載っておれば補助の対象となりますので、来年度この計画を策定しまして、順次実施してまいりたいと考えております。
- 三島教育委員会教育長職務代理者
計画がないと、補助は受けられないということですか。
- 山近学校教育課長
おっしゃるとおりです。
- 三島教育委員会教育長職務代理者
それは、来年度から始まるということですか。
- 山近学校教育課長
来年度中に計画を立てて、総合的に判断をしていただきながら修繕のプランを示していただきます。今後この計画を立てておれば、修繕に掛かる費用の3分の1を補助していただけるものでございます。
- 三島教育委員会教育長職務代理者
学力調査について、テストの実施や分析などによって教員への負担があるなど、事務局として必ずしも賛成ということではないのかどうか、その辺りの雰囲気はどうなのでしょう。
- 山近学校教育課長
ただ今、全国的に行われているのは、全国学力・学習状況調査の小学校6年生と中学校3年生だけでございますので、そこだけではなく、小学校1年生から順次実施しようというものです。こちらのテストというのが、全てのテストを採点し、分析していただけます。また、全国、県と

比較できるものでございますので、教員に負担は掛かりません。こういった指標を基に、今後、授業改善を進めてまいりたいと考えております。

- 三島教育委員会教育長職務代理者
業者が行うということなのですね。
- 山近学校教育課長
そのとおりでございます。
- 三島教育委員会教育長職務代理者
小中学校を通じて学力を把握するという面では、それぞれの学級ごとにテストをされていると思いますけど、専門的に違う面から把握ができるということであれば良いことだと思います。
- 明岳市長
把握だけで終わって、それに対する対策ができていないというのが実感としてあります。今まで蓄積された成績で、各学校の弱み、強みは把握しているのではないのですか。そこに重点を置いて、この教科に力を入れていきますというのであれば、予算を有効に活用できると思いますが、ただ把握するために調査しますというのであれば、今まで何をやっていたのかという感じになってしまいます。
- 山近学校教育課長
おっしゃるように、小学校6年生と中学校3年生は全国テストですので、そこは自校の課題も分かりますし、全国と比較することもできます。しかしこれ以外の学年は、今はそれぞれの学校でまちまちのテストを実施しております。一定程度、統一したテストを全学年で行うことができれば、学年間のつながりも意識してしっかりと自校の分析ができます。先ほども9年間を見通して、力をつけていくべきではないかというお話がございましたので、そこを何とか支援していきたいということで、こういったテストを実施できればと考えております。
- 明岳市長
やるとなると、単年度ではなく、継続してということですよ。
- 山近学校教育課長
はい。
- 明岳市長
この事業を始めるに当たって、教育費に関して何の事業を整理するのですか。
- 山近学校教育課長
平成27年度から実施してまいりました先進校視察については、一旦休止し、こちらに置き換えたいと考えております。また、学校経営支援事業という補助金もあるのですが、この額も減額しながらこちらに回していきたいと考えております。

- 樋上教育委員会委員
小学校1年生から中学校2年生までの学力調査はありがたいと思うのですが、こういった教科で実施していく予定ですか。
- 山近学校教育課長
小学校1, 2年生は国語と算数, 3, 4, 5, 6年生はそれに理科を加えます。中学校1, 2年生は国語, 数学, 英語に理科を加えております。
- 樋上教育委員会委員
これまで中学校での英語の学力テストはなかったのですか。
- 山近学校教育課長
全国学力調査では今年度から英語が加わっております。
- 樋上教育委員会委員
昨日も鹿川小学校に伺ったのですが、これからは時代が変わって、英語は大切な教科で、やらなければいけないんだなと思いました。
小学校1年生から計画的に英語に触れる、楽しく英語を学ぶということを拝見して、江田島市としても全国に後れを取らないように、そういう取組も必要ではないかと思えます。
鹿川小学校はすごく良い実践をしていると思いました。
- 三島教育委員会教育長職務代理者
調査をすれば、より指導に生かせるということですね。市長が言われるように、ただ結果を集めるだけでなく、次につなげることが大切だと思います。
- 明岳市長
調査委託料などを予算計上した際に、改善できたかどうかは報告がないんですよ。だから効果がないのではないかと感じてしまいますよね。
- 小野藤教育委員会教育長
この調査は、計画的に行います。テストを行って、専門的な視点で結果を分析し、次年度に課題を埋めるような指導を重点的に実施します。そうすると、次の年に同じ子供がテストを受けるわけですから、同じカテゴリーでの伸びが確認できます。
伸びていれば指導を改善する中で成果が出てきたことになりすし、伸びていなければ、まだ課題があることになります。そういったことを何年間か続けて、他の学校との比較も含めながら取組を行っていくための効果的な調査です。
- 樋上教育委員会委員
指導者側が検証する中で、こういうところをもっと力を入れていかなければならないということが分かるので、授業改善にはすごくつながると思います。

- 明岳市長
民俗文化財継承事業の補助金は、毎年度行うのですか。

- 松岡生涯学習課長
はい。ただ今回の予算計上額は、初年度で、ほぼ全てのものをそろえるという形で行うものですので、今出している計画によると、令和2年度以降は40万円から50万円程度の補助額になるかと思います。

- 明岳市長
これは高田のまちづくり団体とか幸ノ浦のまちづくり団体が中心となって行うけれども、お金が足りないから助成をするというのですか。

- 松岡生涯学習課長
はい。幸ノ浦は自治会を中心に保存会を作られる予定で、高田は御伴船の保存会というところで地域が中心となってやっていただきます。

- 明岳市長
ほかに質問や意見がないようでしたら、次の議事に入らせていただきます。
「(7) 協議第3号 江田島市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱について」でございます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第2項の規定に基づき、江田島市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるに当たり、会議の意見を求めるものでございます。
詳細は、矢野総務課長から説明いたします。

- 矢野総務課長
それでは資料28ページを御覧ください。「江田島市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱について」でございます。
平成27年4月1日に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が施行され、教育委員会制度が大きく変わりました。一つ目は教育委員長と教育長を一元化した新教育長を設置すること。二つ目が教育機能の浄化と会議の透明化。三つ目は今開催されております、総合教育会議を地方公共団体に設置すること。四つ目が、今から説明いたします、大綱を市長が策定することとなっております。
この大綱の策定に当たりましては、総合教育会議において協議、調整をして市長が定めるということになっておりますので、本日の協議事項とさせていただきます。
「1 策定の趣旨」でございます。本市では、平成27年7月に「江田島市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」以下「現行大綱」と呼ばせていただきますが、こちらを策定し、地域住民の意向をより一層反映した施策の推進に取り組んでおります。
現行大綱は、対象期間が平成27年度から平成31年度までですので、今年度末をもって現行大綱の対象とする期間が終了いたしますことから、令和2年度以降を対象期間とする次期大綱を策定するものでございます。
「2 現行大綱について」でございます。現行大綱は、平成27年度第1回総合教育会議での

協議を経て、第2次江田島市総合計画の「教育・文化部門」を抜粋して策定しております。別冊に現行大綱を載せておりますので御参照ください。

「3 次期大綱の策定の方針(案)」でございます。第2次江田島市総合計画の計画期間が平成27年度から令和6年度までの10年間であり、次期大綱についても、引き続き市の最上位計画である総合計画との整合を図る必要があることから、次期大綱の基本的な部分は現行大綱を踏襲するものとしたします。

「4 策定の流れ」でございます。この会議で次期大綱の策定の方針について協議し、総合教育会議事務局で案をまとめます。その後、今年度末までにもう一度会議を招集し、再度協議した上で、次期大綱として策定いたします。

根拠規定として地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第1条の3第1項、第2項、第3項、第4項を載せております。

第1条の3第1項中の、教育基本法第17条第1項に規定する基本的な方針とありますが、これは教育振興基本計画というものでございます。29ページに抜粋・要約したものを載せております。説明は以上でございます。

○ 明岳市長

この大綱について質問、意見等はございませんでしょうか。

○ 三島教育委員会教育長職務代理者

基本的には総合計画の趣旨に沿ったもので行かざるを得ないと思えますけれども、この5年間で変更する部分もあると思うのですが、その辺りでどう変更されるのか、原案ができれば検討させていただきたいと思えます。

現在のものは総合計画に掲げているものをそのまま持ってきているような感じがしますので、変化の部分を入れていただくように配慮していただければと思えます。

大綱ですから大きく変わる必要はないんですけど、前回と全く一緒というわけにはいかないの。また大綱を作ったけど実際にどういうふうに進めていくのかということの付属資料があればいいと思えます。

○ 明岳市長

原案はいつ頃できる予定ですか。

○ 矢野総務課長

年度末までに再度会議を行う予定ですので、それまでに資料を作成して皆さんにお示ししたいと思っております。

○ 明岳市長

2月末くらいまでには、素案を各委員さんに送らせてもらうということによろしいですか。

○ 矢野総務課長

はい。

○ 明岳市長

それでは、協議第3号は2月末までに皆様方に素案を提案させていただき、また協議するとい

うことにさせていただきます。

ほかに質問や意見がないようでしたら、次の議事に入らせていただきます。

「(8) その他」でございます。何か協議又は調整しておくべきことがありましたら、遠慮なく御発言をお願いします。

ないようですので、以上で、本日の会議を終了いたします。皆様ありがとうございました。それでは司会を事務局に返します。

○ 矢野総務課長

皆様、本日は、ありがとうございました。

以上をもちまして、「令和元年度第1回江田島市総合教育会議」を終了いたします。本日はありがとうございました。